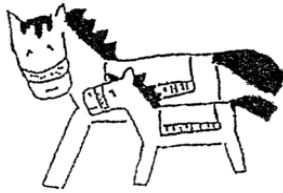


♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと

26年 10月 NO. 239



(厚生労働省・高松市委託事業)

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

～どなたでも～ 10月の主な活動 ～お気軽にどうぞ～

10月 4日	土	あなたもマジシャン! 14:00～16:00	今回は、「ひよことにわとり」という手品です。 老若男女どなたでもどうぞおいで下さい。
10月 10日	金	おはなしの会 10:00～12:00	「秋がいっぱい」をテーマにエプロンシアターや 大型絵本でお楽しみください。
10月 12日	日	運動会に参加しませんか? 9:00～13:00	旧新塩屋町小学校にて 9時から始まります。
10月 16日	木	香川みずぶさんの会 14:00～16:00	11/8(土) 上映予定のドキュメンタリー映画 「うまれる」のDVD試写会をします。
10月 18日	土	体験保育 10:00～11:30	同じ年齢のクラスに入って 一緒にあそびましょう。
10月 24日	金	健康育児相談 11:00～12:00	園医師(小児科医)にゆっくり相談できます。 (要予約)
10月 25日	土	体験保育 10:00～11:30	出産予定の方も育児体験に おいでください。
10月 25日	土	脳力いきいきアート 14:00～16:00	立体的な造形に挑戦して みましょう。(要予約)

・火～土の13時～16時までは、園内開放しています
ので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談(月～土) 9:00～18:00

しつけや子育てについての悩み、保育園生活
入園・見学についての相談もどうぞ。

香川県高松市御坊町2-2
高松保育園 地域子育て支援センター



金子みずぶ童話全集②
美しい町・下より

秋のおたより

山から町へのお便りは、
柿の実、栗の実、熟れ候、
ひよどり、鶉、啼き候
お山はまつりになり候。」「
町から山へのお便りは、
つばめ
「燕がみんな、去に候、
やなぎ
柳の葉っぱが散り候
さむく、さみしく、なり候。」「



高松市医師会看護学校の学生（42期生）37人（うち男性13人）が保育実習しました。

その学生さんの記録から気づきや感想をクラス別にご紹介しましょう。今月は乳児から2歳児クラス、来月は3歳から5歳児のクラスに続きます。

～ことりぐみ（乳児クラス）～

感染防止のため、おむつ交換時は手袋を使用している。保育中にヘルパンギーナ感染者が出たことを知らせる放送があった。園内で情報共有は感染防止対策として有用である。ひるねの時は、部屋の中をピューラックスで拭き掃除をしている。乳児クラスでは、洗いにくいおもちゃは紫外線消毒器を使っている。毎日このような活動によって、職員同士も感染予防に対する意識づけが行われ、こどもたちは守られていると感じた。

乳児は、対人関係や愛着形成、興味や関心を持つために保育者との関わりが大切な時期で、ことばを発することができないこどもの代わりに「おいしいね」や「すっきりしたね」など代弁し、1つ1つのこどもの反応に表情を交えて対応することが関わりの中で重要になってくると感じた。泣くことで意志を訴えるこどもの異常や変化に気づくためには、毎日のこどもとの関わりや親からの情報や早期発見が必要であり、少しの変化でも気づくことが大切であると感じた。

～つくしぐみ（1歳児クラス）～

除去食を食べている子が3人ほどいる。除去食の間違い防止の対策として調理場からあがってくる時に除去食の子だけラップしていたり、名前が書いてあるなどの工夫がされていた。食事の場における対策として、保育者全員が分かるように食べてはいけない食べ物のリストを全員が見れるように机などに貼っておくなどの工夫がされていた。

休息・おひるねについて

1歳児は1日に12時間の睡眠が必要といわれており、昼寝は睡眠時間の確保のために重要である。また、昼寝によりストレスが緩和され、疲れがたまらないという利点もある。保育園では昼寝の前におむつ交換を行い、室内を暗くして、静かな環境をつくることで入眠を促している。また、睡眠を阻害する要因として、興奮や不安、さびしさなどの心理的要因も考えられるため、保育者は幼児のそばで声をかけ、背中を撫でるなどのタッチングも有効である。寝具は、定期的に殺菌・乾燥・消毒を行うことで清潔を保ち、

感染症の予防につながっていると言える。

～はとぐみ（1歳児）～

お礼について

朝と帰りのお礼、食事の前後には手を合わせてあいさつをしている。床にマスクングしている青い2本のテープにそって座り、発達段階や成長・環境により個人差はあるが、集団生活を通して発達を促進させるよう指導していくことが大切である。保育園で大半を過ごす子どもたちにとって、人間形成の基礎を築く大切な時期のため、豊かな人間性を持った子どもに育つよう努めることが必要であることが理解できた。

なかよしデーのあそびについて

つくしぐみへ行き、あそぶ。1列で手すりを持ち、1段ずつ順番に階段を上がっていく。部屋に入ると座り、あいさつする。すべり台やボールプールなどで各自あそんでいる。おもちゃの取り合いでたたいたりする様子も見られる。その際には、保育士が間に入り、止めたり、他のあそびをすすめたりしている。部屋内やベランダをうろうろしている。ベランダへおもちゃを持ってきてあそんでいると注意され、すぐに部屋に返しに行くが、また同じように持ってきたりする。他のクラスと交流を持つことも成長発達において大切なことである。

～つぼみ赤ぐみ（2歳児）～

絵本・読みきかせ

絵本読みは受容あそびであり、視聴覚を通じて見たり聞いたりすることで未知のものを知る受容的なあそびである。「マルマル」や「チクチクチク」など、反復言葉をこどもと一緒に話すことや話し方に抑揚をつけるなどして絵本の世界観に引き込み、楽しみながら集中して聴くという習慣を身につけていた。時々ささやくような声で読み、よりことばの聴き取りに注意が引けるような交わりは、興奮した心を落ち着かせる効果があったと考える。

おひるね

昼食後の排泄終了後に午睡を行うため保育室にふとんを敷く。園児は、自分の布団に行き、しばらくは目がさえてすぐに眠ることはなかったが、保育士らが午睡の援助としてバスタオルをかけ、頭や背中を静かになで続けていると、うとうとし始め、約5分ほどで眠りにつく。中には、なかなか寝付くことができず、ふとんの上で手足を動かしたりするこどももいたが、保育士が膝の上で背中を撫でるなどして落ち着かせて寝かせてい

た。

～つぼみ青ぐみ（2歳児）～

あそびについて

園庭でごっこあそびやスペースを自分の家に見立てたあそびが見られ、これは1歳半ごろから始まり、3、4歳に最も盛んになる象徴あそびである。三輪車等の道具を用いてあそぶ姿も見られるが、他の園児が使用し、自分の思い通りにいかないことがあると、叩く、押す、泣くなどの行動を示す。

このような幼児期の反抗は、発達のあらわれであるが、幼児にとって保育園での集団生活は、社会生活の始まりであるため、ケンカをしたときの解決をスムーズに行う必要がある。三輪車の使用をめぐるケンカとなり、三輪車に乗っている園児を三輪車ごと押す姿が見られた。一緒に使用するよう声かけするが、拒否するため、押している園児に「力が強いね。後ろから押して、あっちに行けるかやってみようか」「すごいね！」等の声かけを行うと表情が笑顔に戻り、2人が会話しながらあそぶことができていた。仲間との交流は、他者との協調性や自己の欲求統制方法を学ぶ機会となるため、あそびを通して学ぶことができるよう、あそびを楽しめる環境づくりや配慮も重要である。 ～ 来月に続く ～

お知らせ

映画とやすらぎコンサート

日時 平成26年11月8日（土）13:00～16:00

場所 高松市生涯学習センター まなびCAN 3F 先着220人

内容 命・家族、絆のドキュメンタリー映画 「うまれる」

やすらぎコンサート（クラリネットとヘルマンハーブとうた）

出演 村上延枝さん（クラリネット） 藏本由佳さん（ヘルマンハーブ）

川田千花子さん（うた）

託児無料 先着10人 連絡先 高松保育園副園長 堀 087-821-9347

主催 高松保育園地域子育て支援センター 共催 高松市教育委員会
（高松市生涯学習センター 遊友塾事業）

同時開催 脳力いきいきアート作品展とユニセフパネル展